

◎昭和47年度第11回理事会議事録(48.4.24) 出席者：岡本会長，石川，浅野(委任状)，篠原，横道の各副会長，下村専務理事，足立(委任状)，荒木，市田(委任状)，小山内(委任状)，大塚，岡田(委任状)，叶(委任状)，後藤，鈴木(委任状)，田辺，長尾，難波，林(委任状)，半谷，平嶋(委任状)，福岡，松木，三浦，吉田(委任状)，米田の各理事，奥田監事。議事録署名理事の決定：岡本会長，下村専務理事，三浦理事。A. 報告事項：1) 刊行物頒布報告，2) 各種委員会その他報告の2件について，説明を省略して了承。3) 定例第1回評議員会報告；去る3月29日(木)に開催された定例第1回評議員会について，下村専務理事から，会議は出席者24名，委任状提出者54名，合計78名で成立し，議長に久保慶三郎評議員を選出した後，議事に入り，最初に議題「昭和48年度事業計画案について」を審議された結果，異議なく原案どおり可決され，次の議題「昭和48年度予算案について」を審議された結果，予算案に計上されていなかった第28回年次学術講演会講演申込料(概算100万円。講演会等の費用にあてるため直接北海道支部の収入とすることに予定されていたもの)を本部の収入として計上し，改めて支部に交付するよう予算案を修正することを条件として，可決された旨の報告があり，了承。なお，評議員会において，昭和48年度に入って開催する評議員会の会議名は「昭和47年度」を冠することに疑問があるとして，理事会で検討することとされたことについて，下村専務理事から，その取扱方について諮った結果，事務的に従来どおり取扱うこととして，了承。B. 協議事項：1) 次期役員選挙の開票について；去る4月20日(金)締切りとして実施された昭和48年度理事および監事選挙の開票を行なった。

選挙定数 理事 17, 監事 1
有権者数 100
総投票数 82

(うち有効投票数 81, 白票 1)

得票数 役員候補者選考委員会推薦候補者全員 81

よって，役員候補者選考委員会の推薦のとおり当選決定。2) 名誉会員の推挙について；事務局員が土木学会名誉会員推薦内規および同適用についての理事会了解事項を朗読した後，種々論議された

結果，会務担当(総務)理事会で検討のうえ，次回(第12回)理事会で改めて審議することに決定。3) 土木学会定款の一部変更について；事務局員が変更事由書を朗読した後，下村専務理事から変更の主眼は副会長1名の増員(理事の総定数は変更しない)であり，その他はこれに伴うものおよび解釈上疑義を生ずるおそれのあるものをこの際に改めようとするものである旨の補足説明があり，次いで種々論議された結果，異議なく原案どおり変更することとし，評議員会および総会の議決を経て文部大臣に申請することに決定。4) 土木学会規則の一部変更について；事務局員が変更事由書を朗読した後，下村専務理事から変更の主旨は定款の変更に伴うものおよび文部省の指導による事務処理手続きの明示化等である旨の補足説明があり，次いで種々論議された結果，一部字句の表現についてさらに検討のうえ，変更することとして評議員会に提案することに決定。5) 土木学会職員就業規則の一部改正について；下村専務理事から，国民の祝日に関する法律の改正に伴い，土木学会においても，国民の祝日が日曜日にあたるときは，その翌日を休日としたい旨の提案があり，異議なく一部改正することを決定。6) 文部省の科学研究費補助金に係る土木工学学科の第2段審査委員の増員について；事務局員が資料を朗読した後，下村専務理事から，本件は，昨年度第12回理事会(昭和47年5月12日開催)の決定により日本学術会議へ要望したもののうち，第2段審査委員1名を2名に増員することについては未だ実現に至っていないので，今回さらに要望することとしたい旨の説明があり，異議なく原案どおり要望書を提出することを決定。7) 環境問題に対する土木学会の対処の仕方について；岡本会長から，本件は，日本学術会議において積極的に審議，検討しつつある環境問題について，土木学会において，これに対応するものを打ち出すことにしたいとの考え方から，三浦理事を煩わして原案作成してもらったものである旨の趣旨説明があり，次いで三浦理事から資料により概要説明があった後，種々論議された結果，とりあえず具体的な審議目標をしばって定めることとし，このため会務担当(総務・調査研究)理事会でさらに検討することに決定。8) その他；① 昭和47年度会計監査を次のとおり実施することを決定。

昭和48年5月10日(木)14.00～

なお，奥田監事から，監査にあたっては，単に会計のみならず事業全般について実施したいと発言があり，了承。② 会員入退会について；説明を省略して承認。③ 次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 青函トンネル土工研究委員会第7回土工小委員会(48.3.1) 出席者：嶋小委員長，ほか22名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 委員の交代について。3) 土工測定計画について。4) 昭和47年度報告書について。

(2) 文献調査委員会(48.3.1) 出席者：伊藤委員長，ほか5名。議事：1) 会誌58巻5号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 会誌・論文集総索引について。

(3) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ(第15回)(48.3.2) 出席者：久保委員長，伯野主査，ほか11名。議事：1) ある一地点に地震が影響する確率について。2) 地震動調査について。3) 耐震設計指針(案)について。

(4) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第2グループ打合せ(第10回)(48.3.2) 出席者：久保委員長，後藤主査，ほか16名。議事：1) 昭和47年度報告書原案の検討。2) 耐震設計指針(案)について。

(5) 鋼構造進歩調査小委員会(第4回)(48.3.2) 出席者：小西委員長，ほか4名。議事：研究テーマに関する原案(特に斜張橋関係)の検討。

(6) コンクリート標準示方書改訂小委員会第10分科会(48.3.2) 出席者：津野主査，ほか6名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち型枠，支保工についての審議。

(7) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第22回)(48.3.2) 出席者：佐藤主査，ほか7名。議事：塗装分科会中間報告書について。

(8) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第3グループ打合せ(第9回)(48.3.2) 出席者：久保委員長，栗林主査，ほか12名。議事：1) 昭和47年度報告書原案の検討。2) 耐震設計指針(案)について。

(9) 昭和47年度第2回田中賞選考委員会(48.3.2) 出席者：奥村委員長，猪股副委員長，ほか15名。議事：1) 第1回委員会議事録の確認。2) 第1回幹事会報告。3) 作品部門予選投票開票の審議。4) 作品部門予選投票開票ならびに予選通過の決定。5) 論文・作品両部

門決選投票の方法。6) その他。

(10) 国鉄 RC 標準解説作成打合せ (48.3.3) 出席者: 河野主査, ほか 7 名。議事: 国鉄 RC 標準 3 編構造物の設計につき逐条審議。

(11) 海洋構造物に関する調査研究委員会第 2 分科会 (第 6 回) (48.3.6) 出席者: 吉田主査, ほか 3 名。議事: 海洋鋼構造物設計指針 (案) 解説について。

(12) 海岸工学委員会編集小委員会 (48.3.6) 出席者: 堀川幹事長, ほか 5 名。議事: Coastal Engineering in Japan の編集作業を行なった。

(13) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 1 分科会 (48.3.6) 出席者: 国分委員長, ほか 4 名。議事: 1) 分科会経過報告および今後の運営方針。2) コンクリート標準示方書の内容区分。3) 第 1 章総則。4) 示方書の体裁。5) コンクリート技師の取扱い。6) 用語。7) 土木学会基準の内容検討。8) コンクリートライブラリーについて。

(14) 岩盤力学委員会第 1 分科会 (地質調査班) 打合せ (48.3.6) 出席者: 関係者 5 名。議事: 岩盤試験値の取り扱いについて。

(15) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 14 回委員会 (48.3.7) 出席者: 大久保委員長, ほか 11 名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 昭和 47 年度報告書原案の検討ととりまとめ。

(16) 海洋構造物に関する調査研究委員会第 3 分科会 (第 6 回) (48.3.8) 出席者: 有田主査, ほか 9 名。議事: 海洋鋼構造物設計指針 (案) 解説について。

(17) 昭和 47 年度吉田賞選考委員会第 2 回幹事会 (48.3.8) 出席者: 水野委員長, 国分副委員長, 岩間幹事長, ほか 3 名。議事: 1) 第 1 回幹事会議事録の確認。2) 国際会議派遣についての具体案の検討。

(18) 原子力土木委員会コンクリート部会 (48.3.9) 出席者: 国分部会長, ほか 21 名。議事: 1) 経過報告。2) 原子力総合シンポジウム課題“PC 压力容器”の講演内容の紹介。3) PC 原子炉構造物 (压力容器・格納容器) 設計・施工要領 (案) の報告・討議。4) その他。

(19) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 15 分科会 (48.3.9) 出席者: 永倉主査, ほか 7 名。議事: コンクリート標準示方書のうちダムコンクリートに関する審議。

(20) 鋼構造架設小委員会幹事打合せ (48.3.10) 出席者: 関係者 5 名。議事: 小委員会への提出資料の作成。

(21) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会 (48.3.10) 出席者: 関係者 10 名。議事: 昭和 48 年度調査結果のとりまとめ。

(22) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会 (第 12 回) (48.3.12) 出席者: 堀川主査, ほか 10 名。議事: 鋼材分科会報告書のとりまとめ。

(23) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会 (48.3.12) 出席者: 左倉主査, ほか 16 名。議事: 熱処理法について。

(24) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会 (48.3.12) 出席者: 田村幹事長, 栗林, 土田の両主査, ほか 12 名。議事: 沈埋トンネルの耐震性に関する調査, 研究報告書のとりまとめ作業。

(25) トンネル工学委員会企画小委員会 (仮称) (48.3.12) 出席者: 関係者 5 名。議事: 第 7 回トンネル工学に関するシンポジウムの企画, 検討を行なった。

(26) 学会誌編集小委員会 (48.3.12) 出席者: 天野委員長, 中村幹事長, ほか 10 名。議事: 1) 経過報告。2) 受付論文査読。3) 学会誌 6~7 月号編集の件。4) その他。

(27) 役員候補者選考委員会 (48.3.13) 出席者: 岡本会長, 石川副会長, 下村専務理事, 市田理事, ほか 15 名。次第: 1) 会長挨拶。2) 選考内規の説明。3) 委員長の選出。4) 役員候補者の選考: ① 会長, ② 副会長, ③ 理事, ④ 監事。5) その他。

(28) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 (第 12 回) (48.3.14) 出席者: 久保委員長, ほか 20 名。議事: 昭和 47 年度報告書原案の検討。

(29) 原子力土木委員会耐震部会主査打合せ (48.3.14) 出席者: 岡本部会長, ほか 4 名。議事: 1) 報告書Ⅱ原稿審議。2) 報告書Ⅲ原稿審議。

(30) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会 (第 16 回) (48.3.14) 出席者: 岡内主査, ほか 14 名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 昭和 47 年度報告書について。

(31) 昭和 47 年度論文賞選考委員会第 2 回主査幹事会 (48.3.14) 出席者: 丸安委員長, 久野副委員長, 後藤, 嶋, 菅原の各部門主査, ほか 4 名。議事: 1) 第 1 回主査幹事会議事録の確認。2) 審査報告開票・整理; ① 未着分の処理, ② 予選通過の採点基準案, ③ 部門別の総括報告書の提出。3) 審査意見について。4) 第 3 回委員会開催について。

(32) 日本の土木技術—100 年の発展

のあゆみ—改訂委員会 (48.3.14) 出席者: 沼田委員長, 鈴木副委員長, ほか 7 名。議事: 1) 編集委員会構成について。2) 改訂の基本方針について。3) 改訂内容 (案) について。

(33) 環境問題小委員会大気分科会 (48.3.15) 出席者: 関係者 3 名。議事: 大気分科会運営につき打合せた。

(34) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会 (48.3.15) 出席者: 関係者 5 名。議事: 熱処理法について。

(35) 鋼構造委員会鋼構造架設小委員会 (第 2 回) (48.3.15) 出席者: 友永鋼構造委員会委員長, 菊池委員長, ほか 11 名。議事: 1) 経過報告。2) 架設例集と事故例集, その他アンケート調査結果の審議。

(36) 土木図書館運営小委員会 (48.3.15) 出席者: 園田委員長, ほか 2 名。議事: 1) 60 周年記念図書館蔵書目録総合版の編集・発行について。2) Proc. of A.S.C.E. のバックナンバーの補充の件。3) 雑誌の交換について。4) 蔵書目録 (既刊) の配付について。5) その他。

(37) 昭和 47 年度第 2 回吉田賞選考委員会 (48.3.16) 出席者: 水野委員長, 国分副委員長, ほか 15 名。議事: 1) 第 1 回委員会議事録の確認。2) 第 1 回, 第 2 回幹事会報告。3) 吉田賞候補論文の審査結果報告。4) 吉田賞受賞候補の決選方法の審議。5) 吉田研究奨励金について。6) 第 3 回委員会開催について。7) その他。

(38) 論文集編集委員会第 4 小委員会 (48.3.16) 出席者: 関係者 5 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代について。6) その他。

(39) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会打合せ (48.3.17) 出席者: 田村幹事長, 栗林主査, ほか 2 名。議事: 沈埋トンネルの耐震性に関する調査研究報告書のとりまとめ作業。

(40) 水理委員会水文学小委員会 (48.3.19) 出席者: 石原委員長, ほか 5 名。議事: 流域の水管理問題における水循環に関する国際シンポジウム調書の作成審議を行なった。

(41) 昭和 47 年度第 2 回論文賞選考委員会 (48.3.19) 出席者: 丸安委員長, 久野副委員長, 後藤 (尚), 嶋, 福岡, 菅原, 後藤 (幸) の各部門主査, ほか 15 名。議事: 1) 第 1 回委員会および第 1 回, 第 2 回主査幹事会議事録の確認。2) 予

選通過の基準および決定。3) 決選投票の方法決定。4) 今後の日程。

(42) 第6回創立60周年記念事業・記念出版部会(48.3.19) 出席者:八十島委員長, ほか7名。議事:1) 土木学会で直接発行する出版物の報告および協議;「創立60周年略史」以下6点の出版物について進捗状況の報告および問題点の協議を行なった。2) 出版社と協力して発行する出版物の協議;数点の企画について協議した。

(43) トンネル工学委員会運営小委員会(48.3.19) 出席者:住友委員長, ほか11名。議事:1) 第7回トンネル工学に関するシンポジウム開催について。2) 米国トンネル視察団来日の件について。3) トンネル協会設立の件について。

(44) 海洋構造物に関する調査研究委員会第1分科会(第5回)(48.3.19) 出席者:堀川主査, ほか8名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 海洋鋼構造物設計指針(案)解説の検討。3) その他。

(45) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会(第4回)(48.3.19) 出席者:沼田委員長, ほか18名。議事:合成桁鉄道橋設計標準の審議。

(46) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会(48.3.20) 出席者:岡本委員長, 伊吹山副委員長, ほか15名。議事:1) 委員長挨拶。2) 経過報告。3) 昭和47年度報告書について。4) 昭和48年度の活動方針について。

(47) 鋼材規格小委員会第2回幹事会(48.3.20) 出席者:関係者4名。議事:1) 議事録の確認。2) 鋼管の形状, 寸法とその許容差に関するアンケートについて。

(48) 昭和47年度第2回表彰委員会(48.3.20) 出席者:岡本委員長, 篠原副委員長, 石川(功績), 半谷(技術)の両主査, ほか14名。議事:1) 第1回委員会議事録の確認。2) 第1回主査幹事会の報告。3) 功績・技術両賞の決選の方法。4) 第3回委員会開催について。5) 決選投票の締切日について。

(49) 論文集編集委員会第1小委員会(48.3.22) 出席者:岡内主査, ほか3名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代について。6) その他。

(50) 論文集編集委員会第5小委員会(48.3.22) 出席者:岩間主査, ほか6名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代につい

て。6) その他。

(51) 耐震工学委員会第15回常任委員会(研究会)(48.3.23) 出席者:久保副委員長, ほか12名。議事:1) IAEEについて。2) 関東地震50周年記念地震工学シンポジウムについて。3) 全国大会研究討論会について。4) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会について。5) 研究会「地盤の地震応答の実測」栗林常任委員(建設省)。

(52) 科学技術庁委託「原子力発電所の地下立地方式に関する調査研究」(48.3.23) 出席者:関係者8名。議事:研究結果の検討および総合的評価の検討。2) 報告書のとりまとめについて。

(53) 昭和47年度表彰委員会第2回主査幹事会(48.3.23) 出席者:関係者2名。議事:技術賞候補の業績説明聴取。

(54) 論文集編集委員会第3小委員会(48.3.23) 出席者:稲田主査, ほか5名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代について。6) その他。

(55) 科学技術庁委託「原子力発電所の地下立地方式に関する調査研究」(48.3.24) 出席者:関係者6名。議事:1) 関西電力奥多良木揚水発電所地下発電所施工現場見学。2) 同 施工上の問題の検討。

(56) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会海洋処分に関する分科会(48.3.24) 出席者:新田主査, ほか6名。議事:1) 遠洋性 プランクトンおよび魚類の卵, 稚魚, 成魚に対する都市下水汚泥の影響について。2) 海洋における還元汚泥の挙動をあらわすシミュレーションモデルについて。3) 重金属と PCB 等の汚泥への濃縮と海水への溶出について。4) 報告書のとりまとめについて。

(57) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会農業利用に関する分科会(48.3.26) 出席者:鈴木主査, ほか15名。議事:1) 昭和47年度調査報告。2) 47年度報告書のとりまとめ。3) 48年度調査方針。

(58) 下水汚泥の処分方法に関する小委員会(48.3.27) 出席者:寺島委員長, ほか15名。議事:1) 各分科会調査結果報告。2) 47年度報告書作成と今後の予定について。

(59) 下水汚泥・脱水等に関する調査分科会(48.3.27) 出席者:左合主査, ほか8名。議事:昭和47年度報告書の筆執分担。

(60) コンクリート標準示方書改訂小委員会第15分科会(48.3.27) 出席者:永倉主査, ほか5名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうちダムコンクリートに関する条項の審議。

(61) 原子力土木委員会耐震部会主査打合せ(48.3.27) 出席者:関係者8名。議事:1) 報告書Ⅱ原稿審議。2) 報告書Ⅲ原稿審議。3) 取放水路設備の耐震性に関する報告書原稿審議。

(62) 構造工学委員会構造物安全性研究小委員会(48.3.28) 出席者:小西委員長, ほか15名。議事:1) 経過報告。2) 委託の主旨説明。3) 講演「航空機の構造信頼性について」科学技術庁 上山忠夫氏。

(63) 論文集編集委員会第2小委員会(48.3.28) 出席者:室田主査, ほか6名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 委員の交代について。6) その他。

(64) 論文集編集委員会主査幹事会(48.3.28) 出席者:久野委員長, 室田副委員長, 岡内, 稲田, 岩間の各主査, ほか4名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第214号掲載原稿について。4) 昭和48年度委員会構成について。5) 投稿論文の返却について。6) 査読報告書の修正案について。7) その他。

(65) 鋼構造委員会(第6回)(48.3.29) 出席者:友永委員長, 奥村副委員長, ほか16名。議事:1) 委員会経過報告。2) 各小委員会活動経過報告;①鋼構造進歩調査小委員会, ②鋼材規格小委員会, ③鋼構造架設小委員会。3) IABSE 関係報告。4) International Conference on Steel Box Girder Bridges in London の報告/東京大学 伊藤学氏, 石川島播磨重工業 成瀬輝男氏。5) 48年度の計画および委員構成について。

(66) 原子力土木委員会廃棄物部会(48.3.29) 出席者:関係者14名。議事:1) 京都大学委託研究中間報告(筒井教授)。2) 京都大学委託研究報告(井上教授)。3) その他。

(67) 終局強度設計小委員会幹事会(48.3.30) 出席者:河野主査, ほか7名。議事:1) 多軸応力下のコンクリートの巨視的破壊条件と設計への提言。2) コンクリートの引張域における破壊条件について。3) せん断に対する設計に対するコメント。4) 道路橋活荷重の特性値の決定について。

(68) コンクリート標準示方書改訂小

委員会第10分科会(48.3.30)出席者:津野主査,ほか6名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち型わく,支保工に関する条項の審議。

(69) 海外活動委員会幹事会(48.3.30)出席者:吉越委員長,赤木幹事長,ほか5名。議事:1)前回幹事会報告。2)Civil Eng. in Japan, 1973年版の編集について。3)研究会について。4)48年度委員会構成について。5)その他。

◎その他

(1) 構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム組織委員会(最終回)(48.3.1)出席者:仲委員長,ほか7名。議事:1)経過報告。2)収支決算報告。3)次回幹事学協会について。

(2) 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム第1回運営委員会(48.3.6)出席者:関係者15名。議事:1)経過説明。2)委員長,幹事の選出。3)開催計画(案)について。4)予算(案)について。5)今後の実施スケジュールについて。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 東北支部人事選考打合せ(48.3.28,クローバー)出席者:松本幹事長,ほか8名。議題:昭和48年度東北支部人事選考。

(2) 第1回幹事会(48.4.13,クローバー)出席者:多谷支部長,ほか14名。議題:1)昭和47年度事業報告および決算報告。2)昭和48年度事業計画および予算の説明。

(3) 第1回商議委員会(48.4.18,クローバー)出席者:多谷支部長,ほか31名。議題:1)昭和47年度事業報告および決算報告。2)昭和48年度事業計画および予算の説明。3)昭和48年度人事選考。

◎関西支部

(1) 構造工学—長大橋梁の諸問題—(48.3.15~16,大阪科学技術センター) 題目と講師

1. 長大橋梁の現状と問題点
京都大学教授工学部 工博 小西一郎
2. 上部構造の強度
大阪大学教授工学部 工博 小松定夫
3. 材料・継手の問題
神戸大学教授工学部 工博 西村 昭
4. 長大併用橋の設計上の問題
本州四国連絡橋公団設計第1部次長 工博 田島二郎
5. 上部構造の耐風設計
京都大学助教授工学部 工博 白石成人
6. 上部構造の製作
阪神高速道路公団南港連絡橋建設部長 笹戸松二
7. 上部構造の架設
日本道路公団高速道路開門建設所 開門架橋工事事務所長 大橋昭光
8. 下部構造の設計
本州四国連絡橋公団設計第2部 設計第3課長 工博 吉田 巖
9. 下部構造の耐震設計
京都大学教授工学部 工博 後藤尚男
10. 下部構造の施工
本州四国連絡橋公団神戸調査事務所長 相良正次

参加者:373名(会員342名,非会員31名)

参加費:会員3800円,非会員5700円

(2) 支部に関する懇談会(48.3.16,大阪科学技術センター)出席者:近藤

(泰),江口,山崎,河村,米谷の元支部長,柳瀬支部長,後藤幹事長。

(3) Hans Foramitti 博士講演会(48.3.17,京都大学)

主催:奈良国立文化財研究所
協賛:土木学会関西支部,ほか3学協会

題目と講師:
町並み保存と写真測量
オーストリア政府記念物局長
Dr. Hans Foramitti

参加者:100名

(4) 「地質学と土質工学の境界領域の問題点」講習会(48.3.19~20,大阪科学技術センター)

主催:土質学会関西支部
協賛:土木学会関西支部,ほか5学協会

題目:8題
参加者:242名

(5) 企画・計画担当幹事会(第7回)(48.4.11,土木学会関西支部)出席者:柳瀬支部長,後藤幹事長,ほか7名。

(6) 庶務・会計担当幹事会(第8回)(48.4.11,土木学会関西支部)出席者:柳瀬支部長,後藤幹事長,ほか8名。

(7) 事務所運営打合せ(第9回)(48.4.3,土木学会関西支部)出席者:土木学会,土質学会より関係者3名。

(8) 第75回騒音振動委員会(48.3.26,好文倶楽部)出席者:庄司委員長,島山幹事長,ほか7名。

(9) 騒音振動委員会幹事会(第72回)(48.3.26,好文倶楽部)出席者:島山幹事長,ほか3名。

編 集 後 記 河村忠男・記

「GNP物語」が世論を風靡していたかと思うと,今は「公害」と「自然保護」がマスコミを賑わせております。いづれも大切なことではありますが,1億総ヒステリー状況の中で,いつの間にか物の本質を見失っている観がなきにもありません。明治100年来の西欧文明の導入と消化の過程で,われわれが必要としてその都度導入した技術が,その技術を生み出した社会的風土と切り離すことのできない事情にあるにもかかわらず上澄みのみを学んできた反省は,いろいろな分野でようやく最近になってなされはじめた様に見受けられます。われわれの属する土木の分野においても,技術の風

士を尋ねるといふ努力なくして受け入れた弊害は,境界領域で矛盾を露呈しはじめており,とくに都市問題の分野では顕著であるとされています。西欧社会に結実した技術の発展は,失敗に失敗を重ねて今日の形をみたものです。このことを思えば,私達日本の土木技術者群には失敗のもたらす「技術の醇化」に対しあまりにも消極的である姿勢が気にかかります。

× × ×
これらは,ひとえに専門分野の層の薄さも大きな原因があるかとも思えます。「土木技術者らしくない土木技術者」"幅広い素養をふまえた豊かな人材"の育成を従前の技術者層に加えて希求する次第です。

× × ×
今月号は,まず最初に口絵と本文でア

ー写真に関する記事を収載いたしました。直接的には土木工学とは結びつかないものかとも存じますが,土木工学の幅と厚さを増してゆくすぐれた話題かと存じます。また,ドイツからの寄稿や委員会報告もあわせ多彩な目次としました。

× × ×
5,6月号は特集形式をとりませんでした,が,会員各位からのご提言等も入れて8月号以降,続々と特集記事を企画しております。また,6月から新しい編集委員・委員兼幹事を迎えて,より漸進的な企画を消化してゆく体勢も整えました。新たに委員会に参画された方々の活躍を祈るとともに,今回任期満了となりました委員・委員兼幹事の2か年間にわたるご協力を紙上から厚く御礼申し上げます。次第であります。